

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19 年 11 月 20 日
事業所名	グループホーム樹樹
ユニット名	1階
事業所番号	2371300860
記入者名	職名 管理者 氏名 北村 尚子
連絡先電話番号	

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの中で話し合っ決めて独自の理念だが、地域の中でと言うより、ホームの中での理念	経営者とスタッフ全員で今後検討
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を各フロアーにて掲げている。1日2回朝夕の申し送りで声に出して言っている。理念を根底に考え必要時、ミーティング等において話し合っている。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	来訪時わかる様各フロアーに掲げている。ホームの考え方や方針等、家族会や毎月のお知らせ(便り)また運営推進会議にてお伝えしている。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	御近所の方にお会いした時は挨拶や日常的な会話を交わしている。近隣の方との関係を円滑にする為ホームの外周の掃除を毎週1回行っている。回覧板でホーム新聞を回している。	回覧板でのホーム新聞は回していただくということ事体に、苦情が何件もあったと町内会長さんよりお話がありました。今後のことについては運営推進会議等にて検討中
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎年行われる地域の盆踊りにや、選挙投票に参加している。運営推進会議にてどう地域と関わって行くべきか話し合っている。老人会には声掛けを行ったが、あまり活動されていないようで参加した事がない。町内会には何かあったら、声をかけていただけるようお願いしてある。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>			<p>地域運営推進会議にて、ホーム新聞の回覧より、認知症豆知識等の情報のほうが地域の方に馴染んでいくのではないかと意見を当年11月頂きました。現在検討中</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の前に各フロアにてセルフチェックをしてもらっている。評価後各フロアで、できていない項目についてどうすべきかはなしあってもらってミーティング話し合った。今までの自己評価や意義を知っていただけるようファイルにしてみている。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>努力している。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>社共さんの地域に密接したボランティアを受け入れている。(ホームの夏祭りにも顔なじみと言う事で同じ方をお願いしている)。傾聴の必要な入居様を傾聴ボランティアさんをお願いしたり、ホーム外の方との個人的なつながりを持っていただく事も目的の1つです。</p>		<p>もっと広がっていくよう努める。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要な方は使用していただいていた。(現在おみえにならない)。制度については知ってみえる職員もいると思うが職員全員が把握してはいない。</p>		<p>職員全員が学べる機会をもてるように検討</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>必要時は個人的にお話をする機会を持つ。ミーティングで精神的な部分の援助についても話し合ってきたつもりです。</p>		<p>何かがあったときに、丸は間違っていると指摘が出来る環境づくりに努める。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	努めている。	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	ホームの玄関に御意見箱を設置。ご家族には書面にして、外部者の苦情窓口のお知らせは行っている。年に1度月便りで苦情受付票をおくばりしている。	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月月便りとして、ホーム新聞、小遣い帳のコピーやレシート、残高の記載や必要なお知らせ、担当者から入居者様の状況を記した物をお送りしている。	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	ホームの玄関に御意見箱を設置。ご家族には書面にして、外部者の苦情窓口のお知らせは行っている。年に1度月便りで苦情受付票をおくばりしている。運営に反映させられるよう努めている。	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	主任会議や、フロアーミーティングをその機会としている。また何かあったら話していただけるような環境づくりに努めその都度反映できるように努めてきた。	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	努めているが、限界がある。	タッフ不足。求人をもめに行っているがなかなか長く努めていただけない。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>移動について必要以上にはしていない。必要時に、新しい目線でのものの見方が出来考え方の偏りを無くす為や援助に対する姿勢の向上の為にすることもある。離職を避ける努力はしている(声掛けをし定期的に話を聞くなどの環境づくりをしている)</p>		
5.人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>進めて下さっている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会等出席できる時は出席する努力はしている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>努力して下さっていると思うが、人員不足にて難しい。</p>		<p>夜勤の出来るスタッフが増えるとストレスや負担が軽減するのでは。(求人を行って下さっている)</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>努めてみえる。勤務状況を把握して下さっている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>真剣に話を聞くように勤めたり、話しやすい雰囲気作りに努めている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族が見えたときにそのような声掛けはしている。そんなに長い時間は作れませんが短時間でも真剣に話を聞くように勤めたり、話しやすい雰囲気作りに努めている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要であれば、他施設の紹介や知識の範囲での情報提供は行う様努めている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>その方に合わせて入居の方法を考えたり、面接の段階や必要時に家族から情報提供をして頂き、環境づくりに役立てる。なじみの物を自宅から持ち込んでいただけるよう入居時にお話している。入居後も自分のスペースを持っていただけるような程度リビングでの座席の位置は固定している。茶碗・湯のみ・箸等御自身の物として使用し統一した食器は使っていない。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>個人差があるが、全体でそう努められるよう努力している。</p>	<p>理念にある様に尊ぶ事が出来、先人の知恵や人生経験を尊重する事が高齢者の援助においてどれだけ大切なことかを考え介護に活かしていけるような意識改革を一環して行えるよう今後も努める。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	出来るだけそうしていけるよう担当者から入居者様の状況を記した物をお便りとして毎月お送りしている。入居時何かあったらお電話させていただけるか了承を得て、何かあったときは可能な範囲でご家族に御協力をお願いしている。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	出来るだけそうしていけるよう担当者から入居者様の状況を記した物をお便りとして毎月お送りしている。なかなかお忙しく面会の機会が持てない方がご家族に多いので、できる方は、小遣いを現金でホームに持ってきていただいたり、家族会で年に2回ご家族入居者スタッフで外食会を行ったり、ホームの夏祭りにご家族をお誘いしたりと勤めている。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個別援助の必要性はわかっているが、スタッフが就いての個人的な遠方・長時間の外出はなかなか人間的に難しい。外部の付き添い者がしっかりとおみえになられる場合(ご家族や知人)は、お願いしている。		
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	努めている		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今までにない例であるが、あれば努めます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>出来る範囲で努めているが、意向等表現できる入居者さんやご家族の意見は取り上げやすいが、そうしていただけない方が二の次になってしまう。</p>	<p>意向等表現のできない入居者さんに対して何を求めて見えるか知る努力に努める。その都度変化してゆくのでこころにとめて努めてゆく</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居の段階にて、ある程度情報収集をおこない入居。入居後の情報については、スタッフ同士情報交換している。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>努めている。日々の健康チェックも含め樹樹にてフェイスシートを作成しそれぞれの担当さんが記入書き換えるようになっている。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアマネージャーさんとはいられ、前向きに検討されており。流れを頑張って作っている最中です。</p>	<p>今の段階ではゆっくり腰をすえての話し合いがなかなか難しいが、出来る範囲で努力する</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>努めている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	努めている。フローア-申し送りノート、受診申し送り用紙、24時間医療連携体制の訪問看護師さんの連絡交換用紙、業務日誌等の活用あと各ミーティングについての話し合いを活かすよう勤めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	可能な範囲で努めている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域のボランティアさん数名に定期的に来ていただいている。第1木曜を除いた毎週木曜に百人1首の教室や民謡と太鼓、音楽セラピーのボランティアさんに交替で来ていただいている。		その都度色々受け入れてゆきたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今までは、他のサービスを使用したことがなかった。		他のサービス使用を視野に入れ必要時には対応したい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要時は協働してきた		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	人員の都合もあり出来るだけホームのかかりつけ医に往診にて見ていただいている。眼科は月に1度必要な方のみ定期受診に対応、歯科は、往診にて週に2度希望の方と必要な方。今年11月より、皮膚科は冬場にどうしても需要が高くなるので、冬場のみ月に1度往診をお願いしました。その他の御希望は、ご家族と相談して、御協力いただいての通院を基本といたします。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	近所に物忘れ外来も行っている、精神科があり、ご家族で御希望の方がおみえになり利用しております。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	行っている		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	努めている		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	努めている		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族や、訪問看護師さん。かかりつけ医と話し合いながら努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	努めている		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような記録等の個人情報の取り扱いはしていないしスタッフの入社時に誓約書を取っている。言葉かけや対応についてはスタッフによる。ミーティングでも話あったり、対応や声掛けがまずかった場合は個人的な助言も行われている。		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	努めている		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	現状では難しい。安全に、日常生活に気配り、心配りをする事で、精一杯です。業務の許す範囲でそうできる事は望ましいと思う。		その方の望む物や事をリストにし(11月の主任会議で話し合いました。)ボランティアさんの募集は行っている。理想ではある。スタッフの求人を行っている
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	フロアーに化粧品を用意したり、1月に1度希望者をつのり美容院に出かける日がある。(地域にねずく生活の一環)		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自立支援については開設時に比べてかなり入居者さんに浸透してきたと思う。スタッフもそれぞれの考えを持って努めてきたが、日によって、時間やペースにおわれ出来ていない事もある。		出来る範囲で今後も努力してゆく
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒は行事や外食時の等に、飲んでいただく機会を作っている。希望者がみえ月に1度夕食時にビールをたのしんでいただく。おやつはその方の健康状態とご家族の意見を聞きながら、その方に合わせ対応している。なかなか外出のできない方は週1回車上パン屋さんがみえ、外に出て好きなパンを買っていただくようにしている。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	睡眠や食事も配慮し、排泄のパターンを考えながら出来るだけ御本人様に負担のない形で行っている。排泄時の清潔がなかなか保たれない入居者の方がおみえになられる。男性トイレに工夫を凝らしたり、まめに声掛けをしたり対応している。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	お一人ずつ入っていただいております。声掛けや、状況等タイミングを大切に、決められた曜日と時間の範囲内で行っている(週5日間お昼から)。嫌な方はで不衛生にならない範囲で御無理は言わないようにしている。入浴中はゆったりとさせていただくよう心掛けている。		安全な生活を前提に、いる人数で勤務を組む都合上、入浴のない日より入浴日は人数を取って勤務を組むようにしています。顔なじみのボラさんを増やす事ができたら考えていけるかもしれません。(ボランティアも現在募集しております)
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	眠れない際はお話をしたり、お茶を飲んでいただく等の落ち着いていただける対応を致します。あまりお薬を飲まなくて良いよう、偽薬でも眠れる方は、偽薬で対応する等・・・スタッフ同士はなしあってやっております。夜間スタッフに声をかけやすいよう「少し部屋のドアを開けておいて」とおっしゃる方も見える。安心するようです。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	男性の入居者さんに体操の号令を取っていただいたり、食事の挨拶をかけていただいている。以前は香の好きな方が見え、皆様が寝た後にフロアで楽しんだり、御茶御免状もって見えた方を主に野点をしていただいたこともありました。定期ボランティアの中で(百人一首や太鼓、音楽セラピー)、役割を持っていただく事もある。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出の意欲を持っていただく為にも・・・とミーティングで話し合いました。持ちたいという意思のある方で職員で持っていていただいても良いのではと考える方においては、御家族に了承を得た上で3千円くらいまででお持ちいただいている。そのほかのかについてはスタッフ管理。		
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	努めてはいます。理想ですがなかなか難しい。どうしてもスタッフの人数のいる日に、入居者さんの外出をあわせています。		今みえる地域のボランティアさんや、顔なじみのボラさんを増やす事ができたら、外出も考えてゆけるかとは思いますが・・・ボラさんに外出をお願いする事に対しては責任の問題において、賛否両論ありました。
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	理想ですがなかなか難しい。計画を前もって計画を御本人と立て出かけられる範囲で出かけます。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	努めている。ご家族の御希望もあり携帯電話をもたれてますが、認知症の都合上スタッフのほうにて、管理して見える方がおられます。持ちたいとの御希望のある方もみえましたがお持ちになら話し合いにおいて、ないほうが、精神的に不安定にならないのではと言う理由でおもちゃいただいている方が見える。		以前ミーティングで自由に電話が出来るように公衆電話設置の話もあったが色々な条件があるとの事にてやめました。
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	担当者から入居者様の状況を記した物をお便りとして毎月お送りし、入居者様に対して定期的に意識を向けていただけるようにしている。1月に行う家族会で1年間のホームの中での変化や、制度の変更についてお話をしている。ご家族にお会いする機会には何かあったらお話いただけるような雰囲気作りを努めている。年に2回ご家族入居者スタッフで外食会を行ったり、ホームの夏祭りにご家族をお誘いしたりと足を踏み込みやすい環境づくりに努めている。おみえになられた方には、お茶をお出しするよう心掛けている。		
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	尊厳を守ったり、尊重する心があれば身体拘束はなくなると思う。身体の危険等が原因でそのような必要性にせまられた時は、しっかり話し合いをもち身体拘束でない方法を探るように努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることは間接的な身体拘束と考えるようにしている。以前ある方が、落ち着かなくなると帰宅願望がスタッフの制止を押し切り信号のない国道も車を止めてわたって行う事もあった際は、どうしても落ち着かない時のみ玄関に鍵をかけるようにし、その都度鍵をかける事の重大さを感じていただく為に、ファイルに記録していた。現在は無い。		
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	努めている。		状況について声掛けをし転倒等の見守りを怠らないように努める
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	誤認による異物の摂取や使用を考え配慮できるよう、ミーティングにて話あった。洗剤等はすぐかた付ける、芳香剤は目の届かない所におくか、簡単に食べられないような形状の物を選ぶ等。キッチンの刃物のある開きには、簡単なロックがつかまりました。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ミーティングにて話し合いました。マニュアルはファイルしておいてあります。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命講習を順番に参加するようにしましたが、まだ数名のみ。勤務の都合上最近では参加できておりません。研修報告として、報告会を行いました。マニュアルはファイルしておいてあります。		講習会にできる範囲で参加。定期的に勉強会を行う様にする。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	以前グループホーム火災が他施設であった際にミーティングで話し合いました。防災頭巾は各フロアのイスに設置。ヘルメットも用意しております。消防署におねがいして防災訓練年に1度行っております。		地域の人に協力を得られるように働きかける。以前非常食の準備と防災袋を居室に常備にしましたが、再確認する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	は各ユニットでリスクが予測できる場合においてフロアーミーティングでの話し合い後、電話でご家族におつたえします。ご家族に御相談の上必要な対策に対する同意書を作成し、足を運んでいただける方には来ていただいて説明。そうでない方にはお電話と書類郵送にて対応後同意を得て保管しております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	1日1回の血圧と体温チェック、1ヶ月に1回の体重チェック、入浴時の皮膚チェックや腹部の張り等の変化を気にする。1日2回の申し送りで業務日誌への記入。フロアー申し送りノートの活用、受診申し送り用紙の活用。24時間医療連携体制の訪問看護師さんの連絡交換用紙等見やすく全てを業務日誌にファイルし、漏れなく確実に申し送るよう努めている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をケース記録に閉じこんでいつでも見られるようにしている。担当が確認しながら1日分ずつをセットし服薬を促した者が確認のチェックをするようファイルをつくって保管している。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝体操を行ったり廊下をウォーキングしたりしている。起床時バナナや牛乳を召し上がっていただいてみえる方が4名ほど見える。便秘の状況を見ながらその都度便秘薬の量を調節している。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨きセットをスタッフで管理し日々声掛けを行っている、入れ歯は日々の歯磨きと週に1度ポリデント洗浄。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要な方はきざみ食にしたり、食事で遊ばれる方は、食事のすんだお皿を先に下げたり、時間の必要な方はその方に必要な時間ゆったりと食事をしていただいている。その方にあった食事量を気にして対応している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	その都度マニュアルを作成したり、ミーティングで勉強会を取り込んだりして努めてきた。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	努めている		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	夜間はスポットで照明がつくように工夫してある 夜間の騒音は終えかけの必要な際は、御理解いただけるようお話したり、その都度臨機応変にスタッフで対応。茶話会で季節を織り込んだ話をしている。フロアーの飾りつけにおいて季節感のある大人の雰囲気になるよう努めている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外にベンチがあるので、気の合った利用者さん同士で過ごして見える。お一人で外に出て気色を眺められる方もいる。		フロアーのスペースが限られているので、フロアーでほっと1人になりたいときに一息つくことは、難しい。以前共用空間の中に、独りになれる場を・・・と廊下の突き当たりに、イスを置いてみたが利用される事が少なく撤去した。フロアーにソファを置いたがトラブルがあり撤去した経緯がある。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	なじみの物を自宅から持ち込んでいただけよう 入居時にお話している(仏壇や家具等)。茶碗・湯 のみ・箸等御自身の物として使用し統一した食器 は使っていない、出来る範囲で好みに合わせて対 応している。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	エアコンの温度や換気はスタッフが中心に管理し ている。空気清浄機や消臭剤、芳香剤を設置して いる。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	その方に合わせた形で臨機応変に対応している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	その都度臨機応変に対応している。個人について 把握しやすいよう担当制にし、日々のケアに対し てはフロアミーティングでフロースタッフで 話し合い、ケアプランは計画作成者と担当者と作 られる。その中で自立援助について話し合い対応 している		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	桜の木、沈丁花や金木犀、花等が植えられ、季節 によって楽しんでいる。畑をしてくださる方が外 部の方でおみえ、水遣り、収穫、季節の野菜を目 で愛でたりできる。いくつかベンチがあるので、外 でポーっとする事が出来る。散歩に行く事が困難 でも外の空気を楽しめる。		傾斜が幾分かあるので、注意が必要。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

・サービスの成果に関する項目

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

お忙しいご家族や遠方の方が多く必要最低限のお話しかなかなか出来ません。出来るだけ、きっかけ作りの努力は行っております。なかなか選択しかねます。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開設当初に比べ家事1つをとっても自然の形で御一緒にしていただけようになった。

良い刺激を沢山との想いで各種ボランティアを受け入れたり外出や行事を日常生活の中にも出来るだけ取り込んでいる。色々な部分で前向きに取り組んできました。入居者さんに笑顔が沢山見られるようスタッフ全員で努めている。